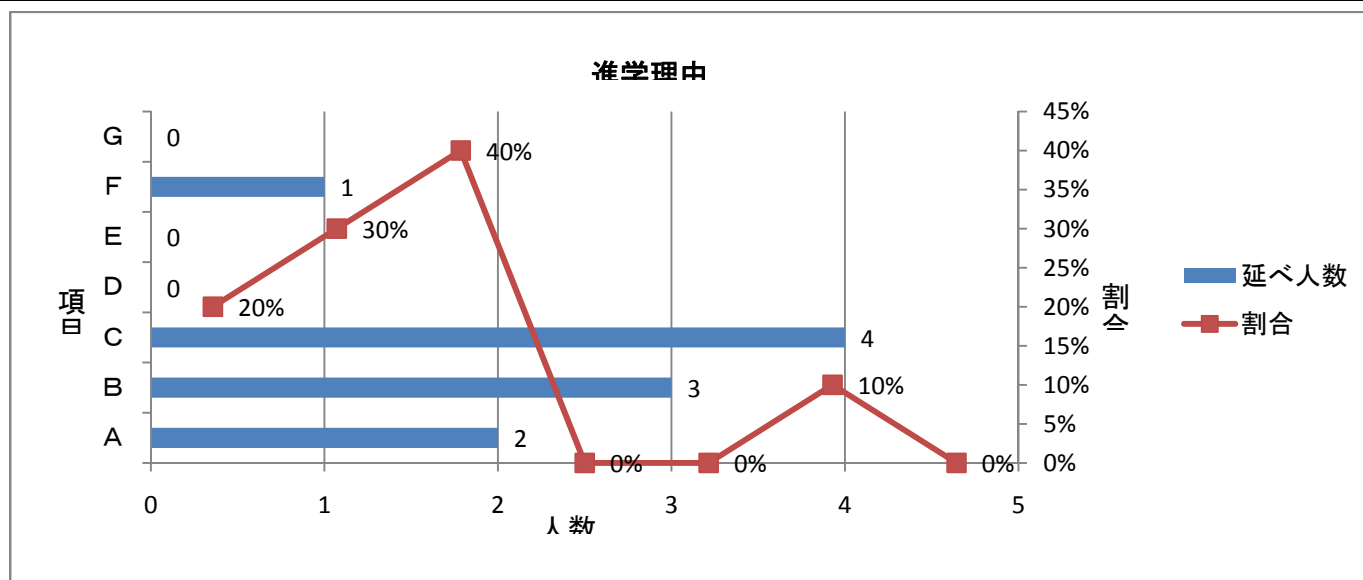


## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 2.進学理由

\*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	2	20%	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため
B	3	30%	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから
C	4	40%	資格取得のため(税理士試験科目免除、臨床心理士国家試験受験資格、教員専修免許等)
D	0	0%	大学院卒業という学歴が欲しいから
E	0	0%	将来に不安を感じたから
F	1	10%	時間に余裕が出来たから
G	0	0%	その他

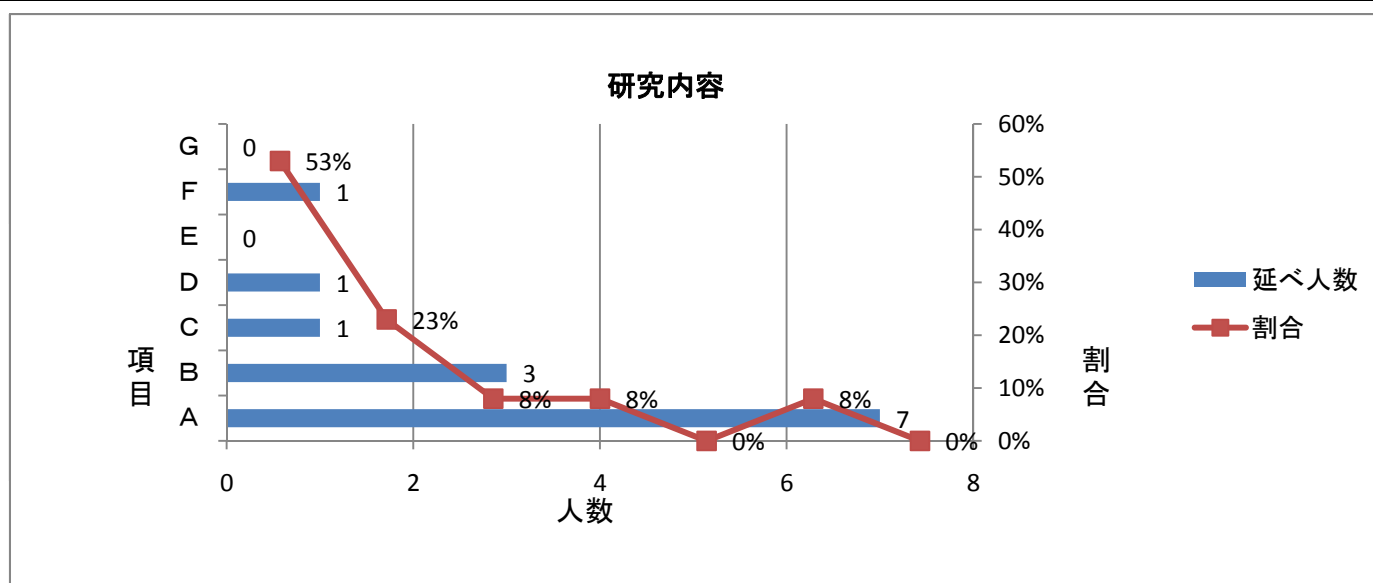


### 3.研究について

\*複数回答

#### ①研究内容

項目	延べ人数	割合	内容
A	7	53%	理論的研究
B	3	23%	調査・インタビュー・実験を用いる研究
C	1	8%	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
D	1	8%	課題の発見に関する研究
E	0	0%	課題の解決を目指す研究
F	1	8%	実践的応用に関する研究
G	0	0%	どれにもあてはまらない



## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

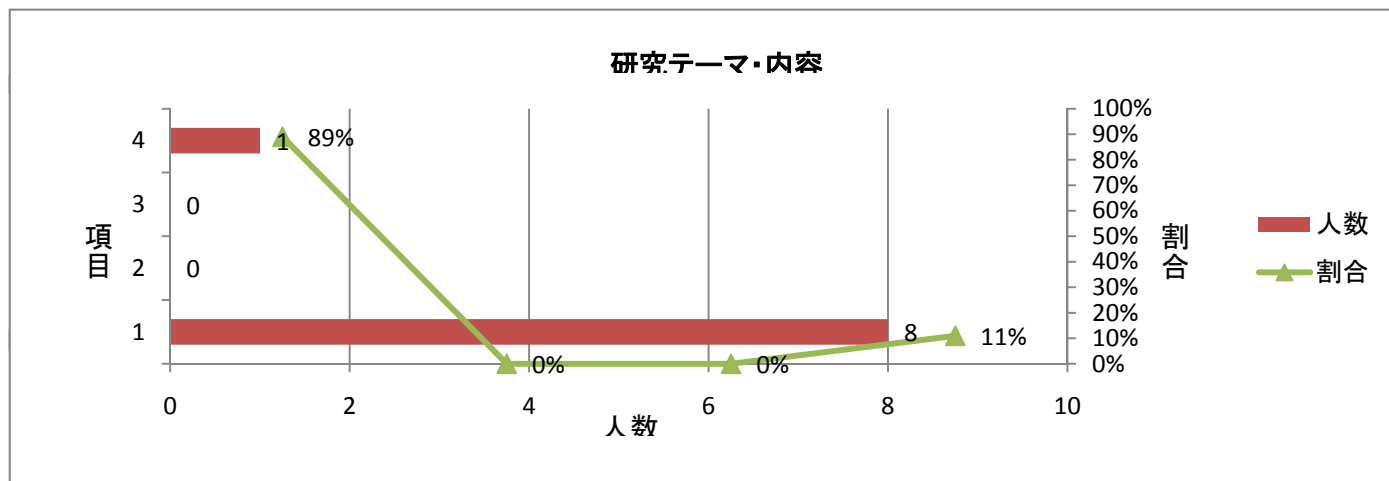
### ②研究の傾向

#### I. 研究テーマ・内容

項目	人数	割合	内容
1	8	89%	Aにあてはまる。
2	0	0%	ややAに近い。
3	0	0%	ややBに近い。
4	1	11%	Bにあてはまる。

\* A: 研究のテーマ内容が明確である。

\* B: 研究のテーマ内容がまだ明確に決まっていない。

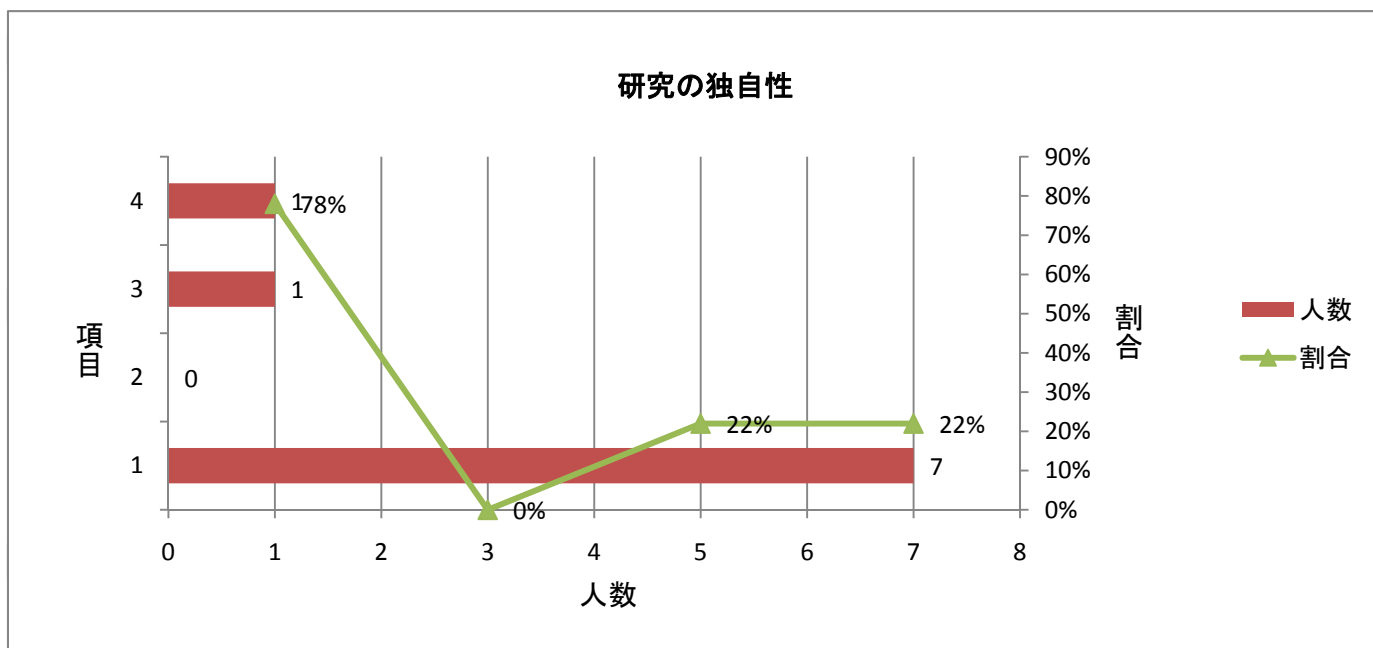


#### II. 研究の独自性

項目	人数	割合	内容
1	7	78%	Aにあてはまる。
2	0	0%	ややAに近い。
3	1	22%	ややBに近い。
4	1	22%	Bにあてはまる。

\* A: 研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている。

\* B: 独自性(オリジナリティ)は意識せずに、研究を行っている。



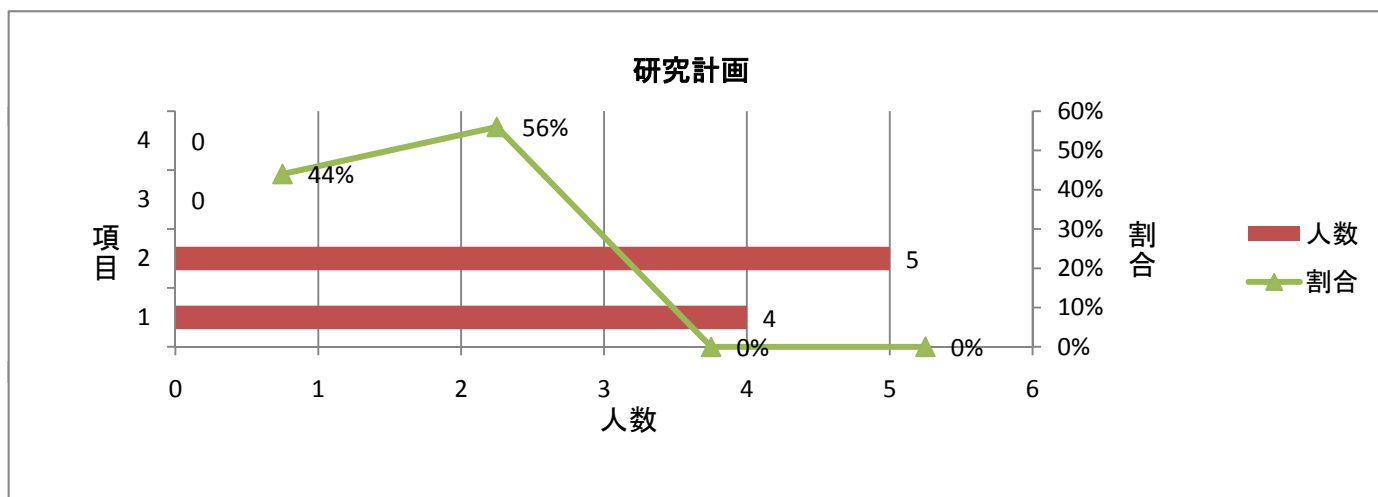
## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### Ⅲ. 研究計画

項目	人数	割合	内容
1	4	44%	Aにあてはまる。
2	5	56%	ややAに近い。
3	0	0%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

\* A: 研究の計画が具体的に定まっている。

\* B: 研究の計画は、まだ、具体的に定まっていない。

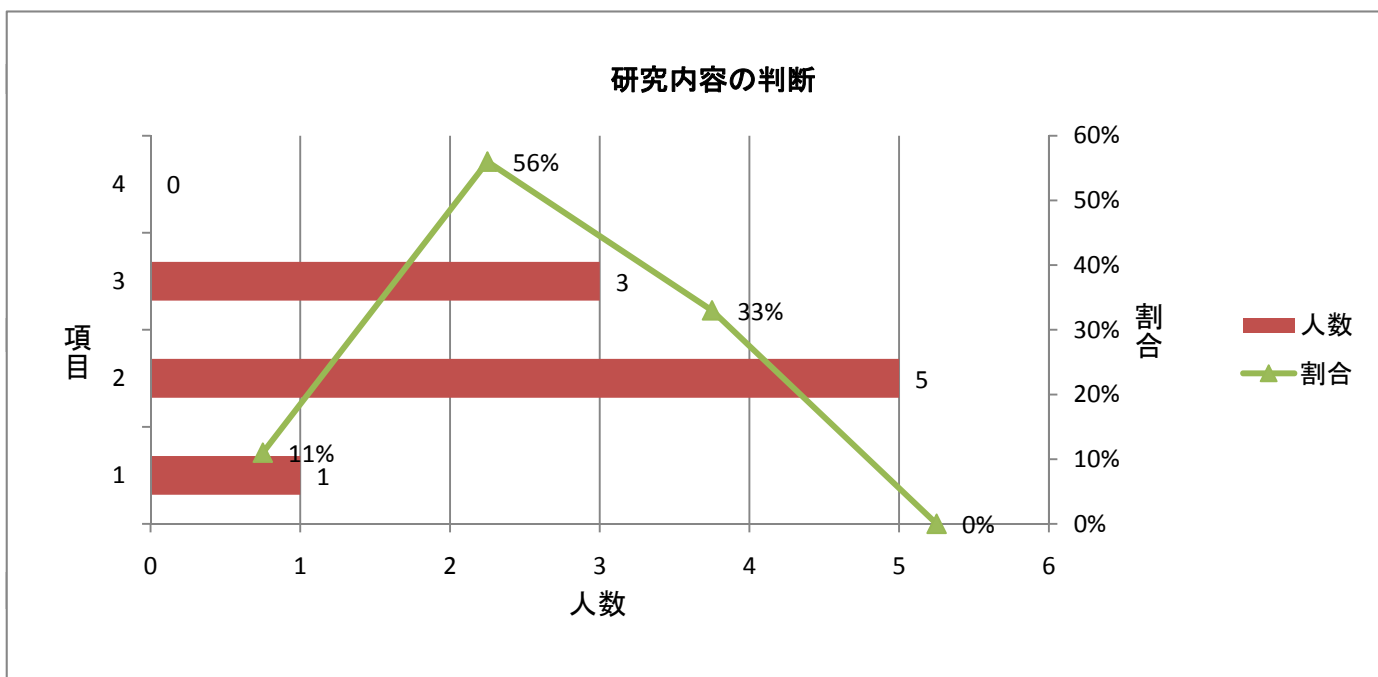


### Ⅳ. 研究内容の判断

項目	人数	割合	内容
1	1	11%	Aにあてはまる。
2	5	56%	ややAに近い。
3	3	33%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

\* A: 研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている。

\* B: 研究を行うときには、教員や先輩の指示に頼っている。



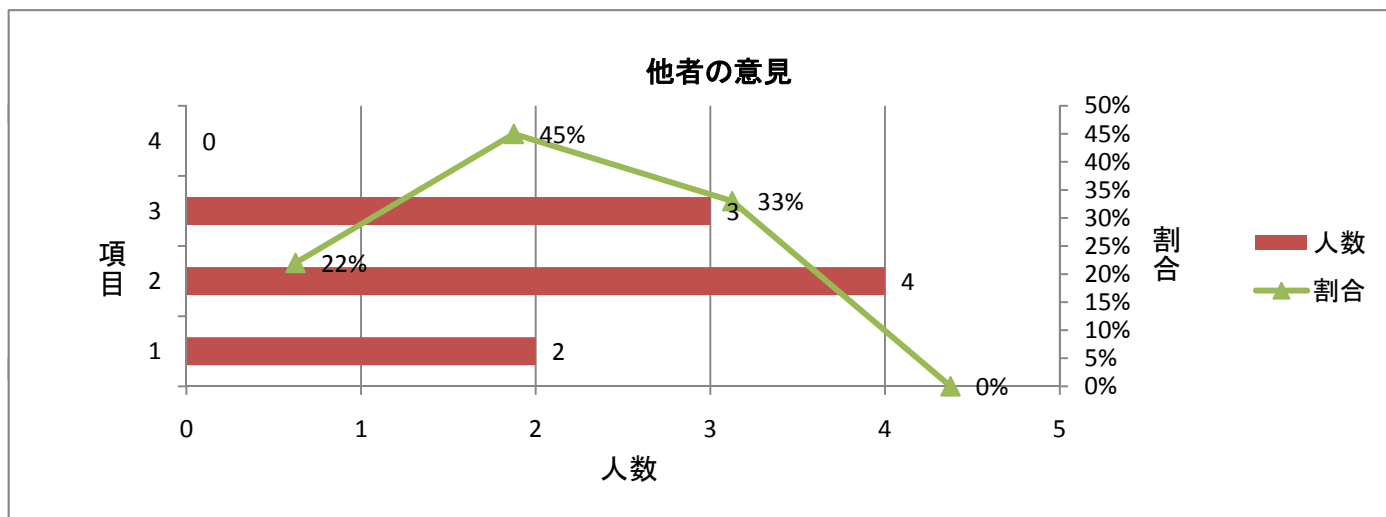
## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### V. 他者の意見

項目	人数	割合	内容
1	2	22%	Aにあてはまる。
2	4	45%	ややAに近い。
3	3	33%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

\* A: 他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る。

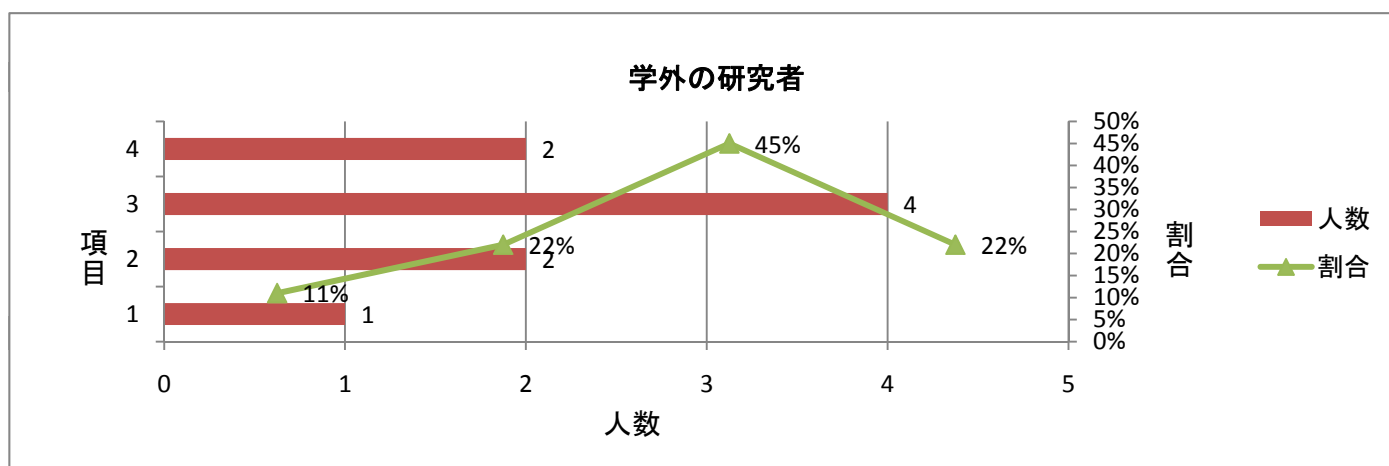
\* B: 意見をもらう機会は、他者が設定してくれる。



### VI. 学外の研究者

項目	人数	割合	内容
1	1	11%	Aにあてはまる。
2	2	22%	ややAに近い。
3	4	45%	ややBに近い。
4	2	22%	Bにあてはまる。

\* A: 学外の研究者と積極的に交流している。 B: 学外の研究者との交流は少ない。



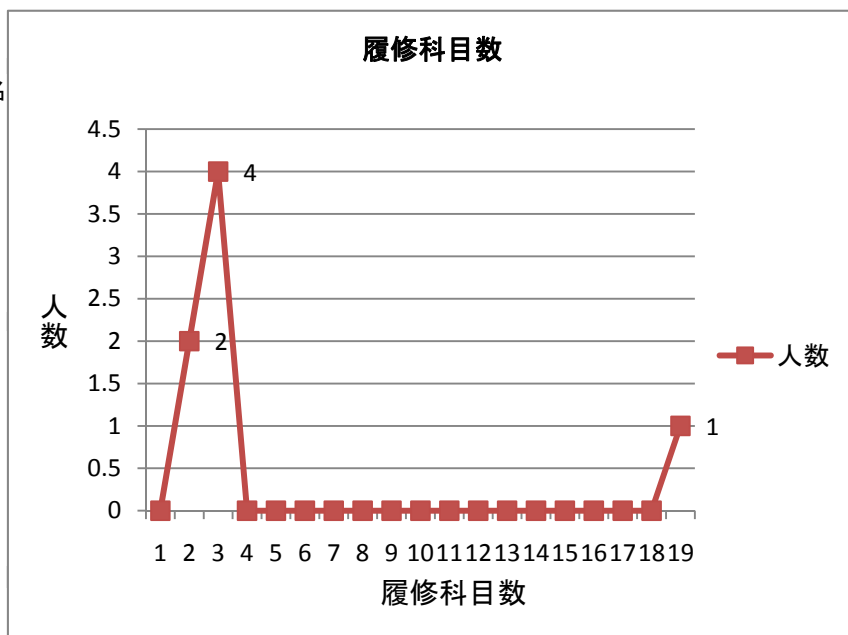
## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 4.大学院開講科目について

#### ①履修科目数

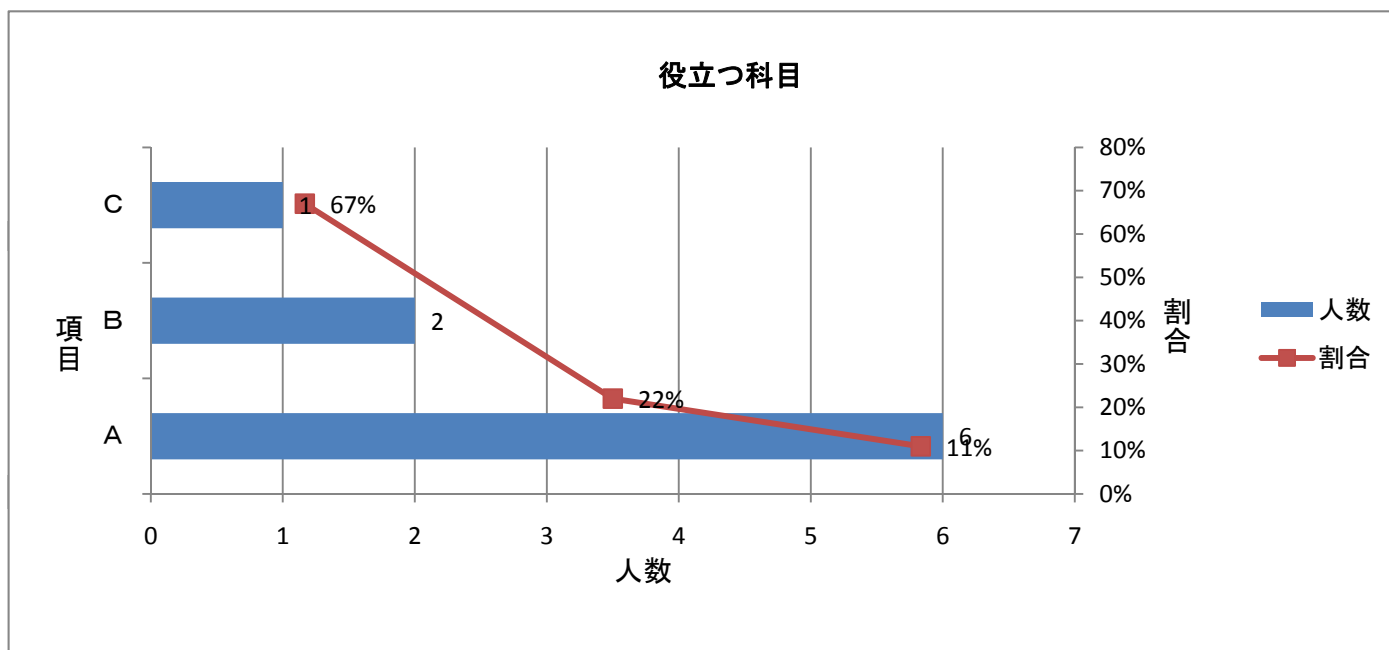
履修科目数	人数
0	0
1	2
2	4
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
20	1

※未回答:1名  
「必要数+1」と回答:1名



#### ②役立つ科目

項目	人数	割合	内容
A	6	67%	ある
B	2	22%	ない
C	1	11%	科目の履修はしていない



#### ②-2 科目名

M1	心理学研究法特論
M2	特論
M2	財務会計特殊研究
M2	比較経営特殊研究Ⅱ
M2	特殊研究

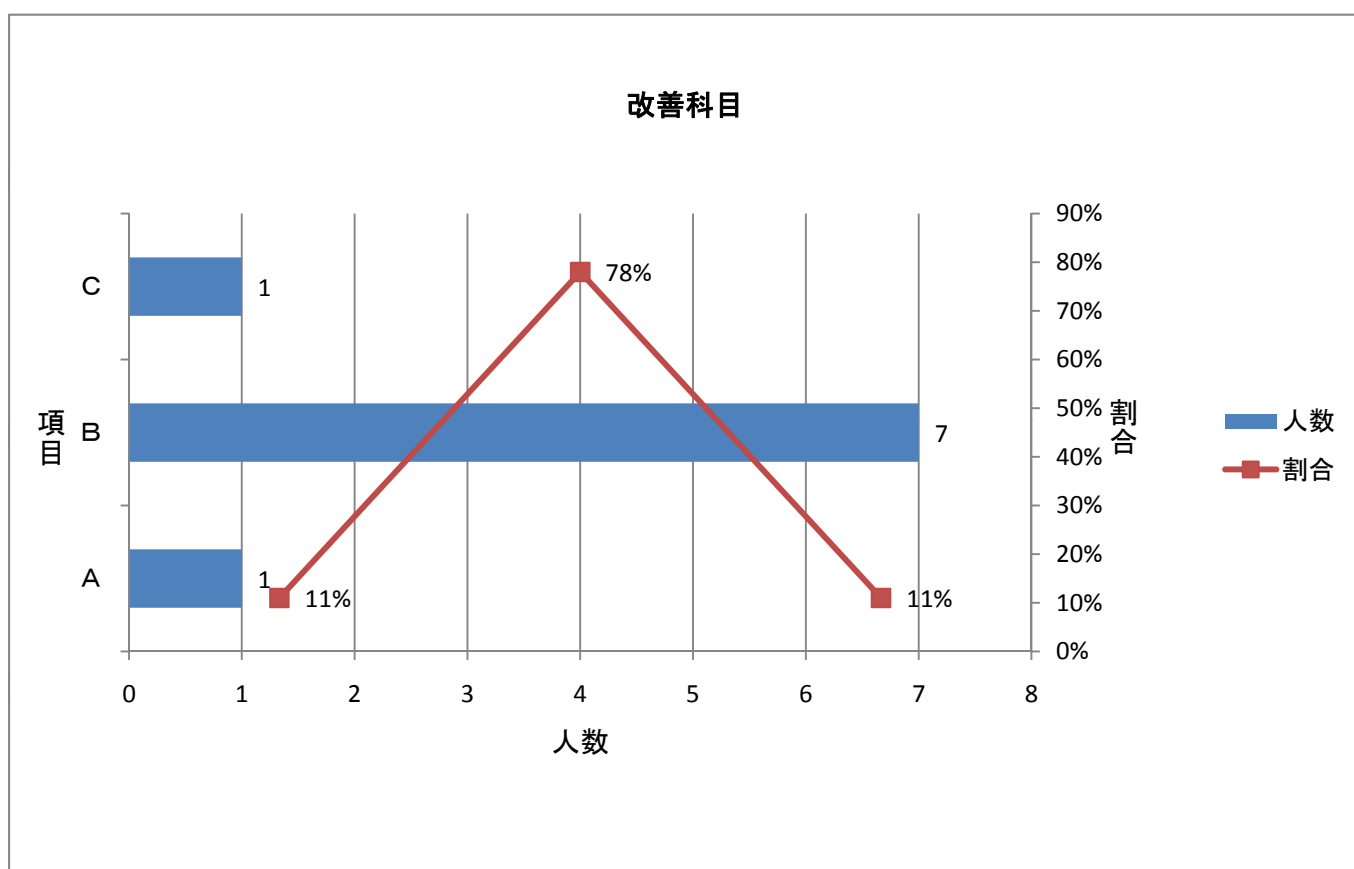
## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### ②-3 どのような点が役立つと思ったか

M1	研究に重要なものがわかった。
M2	教授の指導
M2	論文の執筆
M2	修士論文の作成指導について。研究方法・日程計画・纏め方・表現方法など。
M2	理論的な展開の方法などはすべての科目から勉強になると思います。
M2	具体的に指導していただける。

### ③改善科目

項目	人数	割合	内容
A	1	11%	ある
B	7	78%	ない
C	1	11%	科目の履修はしていない



### ③-2 科目名

M2	複数
----	----

### ③-3 どのような点を改善した方が良かったか

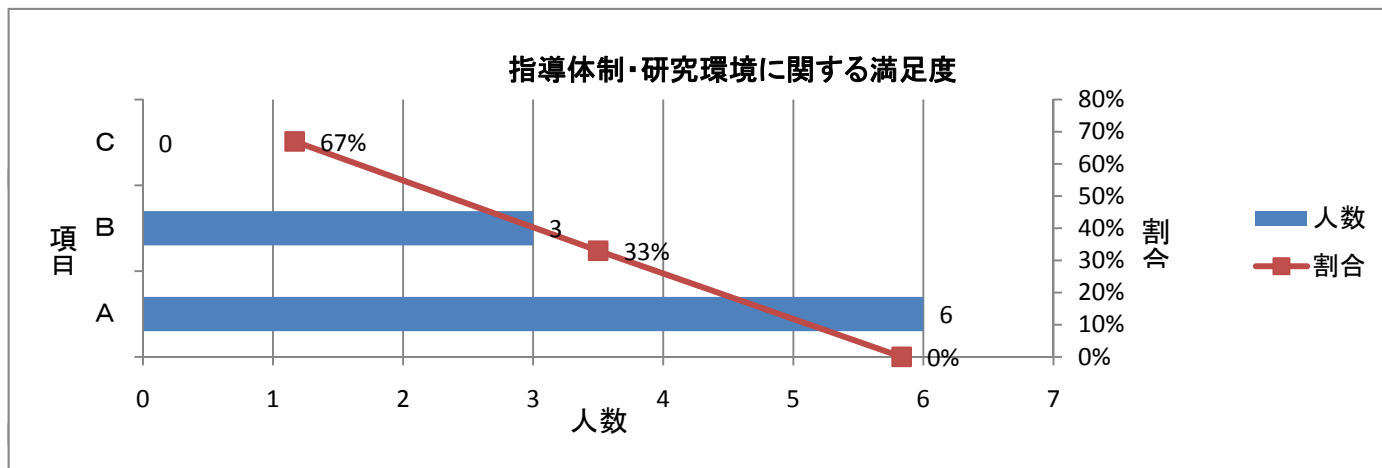
M2	その科目を専門にしている学生とそうでない学生が入り交じった授業の場合、授業のレベルを落とす先生が多い。専門にしている学生が、勉強のしがいがないと思った。
----	--

## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 5.指導体制・環境

#### ①指導体制・研究環境に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	6	67%	満足している
B	3	33%	満足していない
C	0	0%	どちらでもない

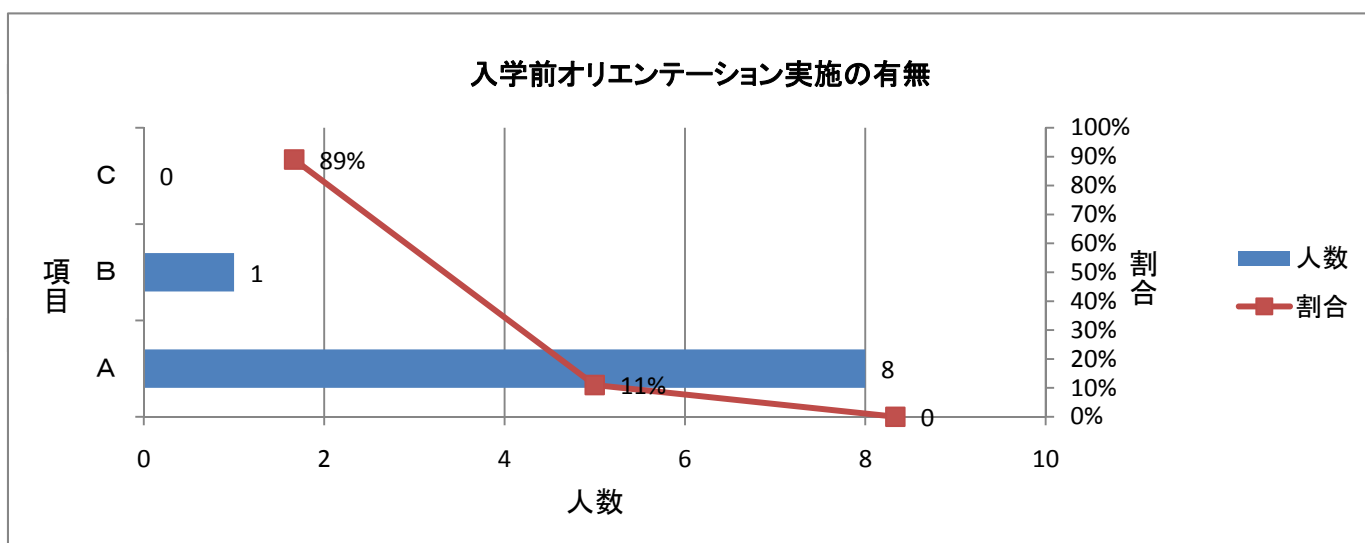


#### ②満足できない理由

M2	人数が少なく、1年と2年合同で特殊研究を行うため、2年に入って、十分な指導時間を確保してもらえない。
M2	口頭試問後の論文修正提出期間に入試が重なっていて困った。あと口頭試問が2月後半なのは、遅い。
M2	時間。残業が多く、夜遅くまで、PCが使える環境があればよい。

#### ③入学前オリエンテーション実施の有無

項目	人数	割合	内容
A	8	89%	あった方がよい
B	1	11%	無くてもよい
C	0	0	どちらでもよい



#### ④指導体制、方法、研究環境に関する意見・要望

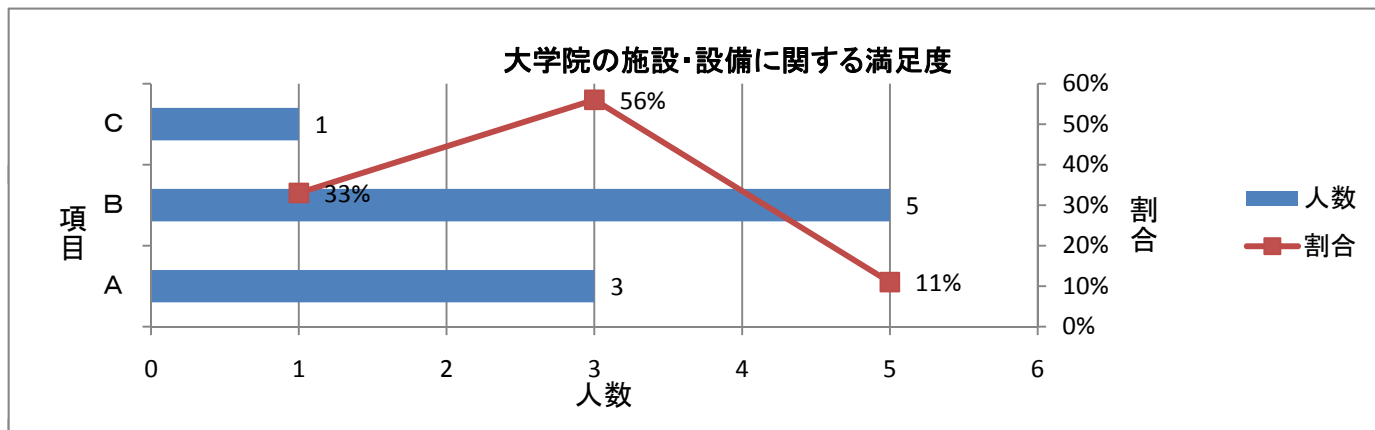
M2	図書館にプリンターなどの設備をつけて下さい。自習室にもPC、プリンター一式をつけて下さい。
----	---

## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 6.施設・設備

#### ①大学院の施設・設備に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	3	33%	満足している
B	5	56%	満足していない
C	1	11%	どちらでもない

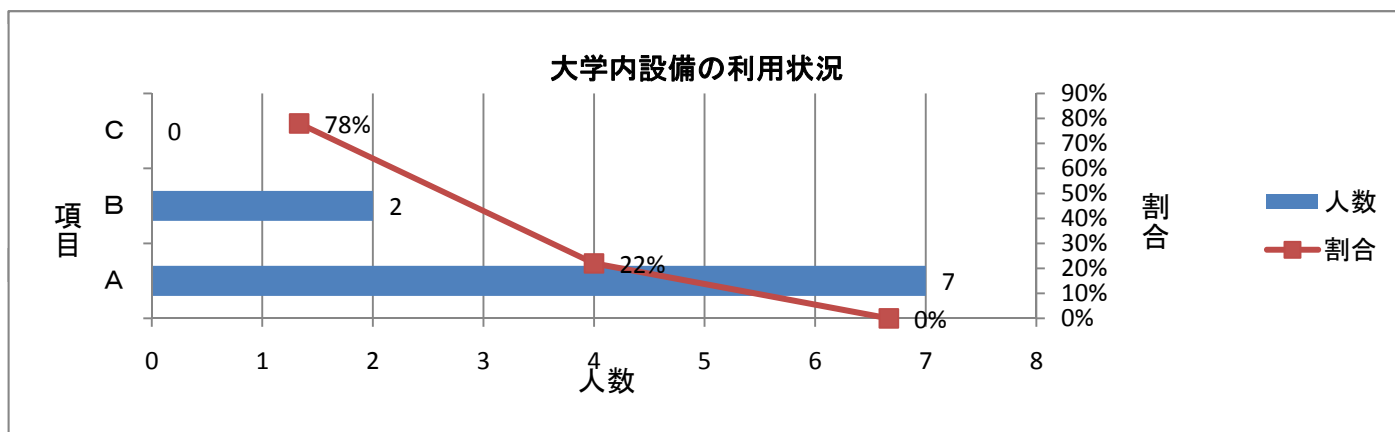


#### ②満足できない理由

M1	6階のゼミの部屋が暖房がつかない。寒いです。
M2	11時閉門は早すぎる。21:40に授業が終わるのに、1時間ちょっとしかその後に勉強できないのはありえない。大学院棟だけ24時間化するなどを検討してほしい。
M2	ワード・エクセル2007が入っていないので不便。
M2	口頭試問(26日)後、論文修正に必要な文献を図書館に借りに行ったら、「もう貸し出していない」と言われ借りられません。せめて再提出終わるまでは借りられるようにして下さい。
M2	口頭試問後、論文修正のために文献を借りたいのに借りられないこと。

#### ③大学内設備の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	7	78%	よく利用している
B	2	22%	たまに利用している
C	0	0%	全く利用していない



#### ④大学院の施設・設備に関する意見・要望

M1	6階にある専門書を増やしてほしいです。(有名な辞典とかを入れてほしい。) 6階でもDVDデッキが一つでもあると嬉しいです。
M2	EXCEL等、Microsoft officeが、2002と2007(あるいは2010)の両方が使えるようになってほしい。あるいは、大学院棟のMicrosoft officeのバージョンアップを希望する。

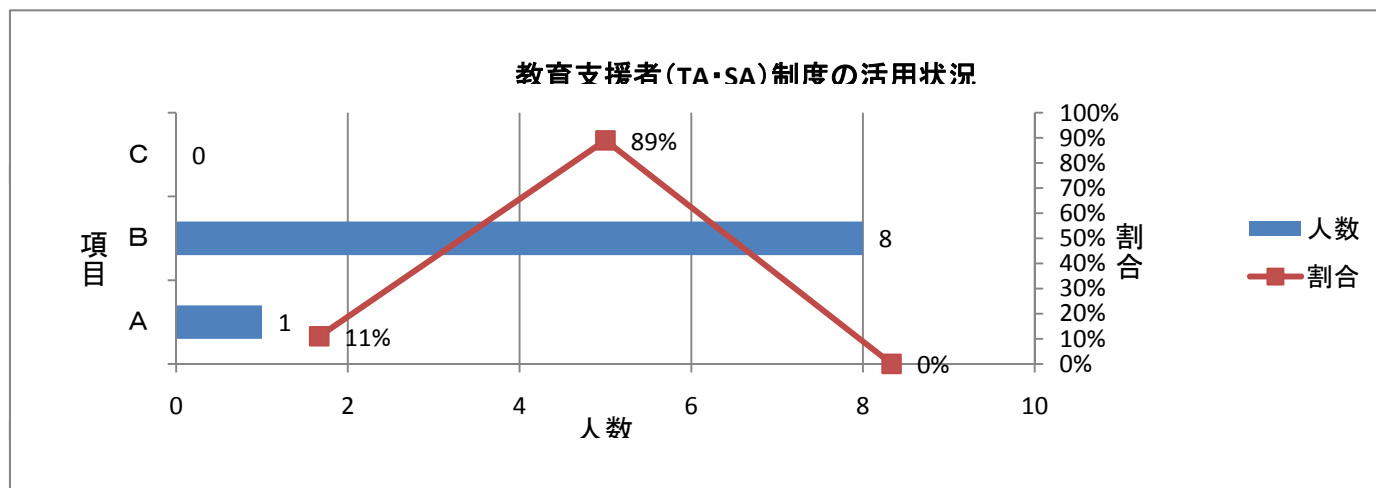


## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 7.教育支援者(TA・SA)制度

#### ①教育支援者(TA・SA)制度の活用状況

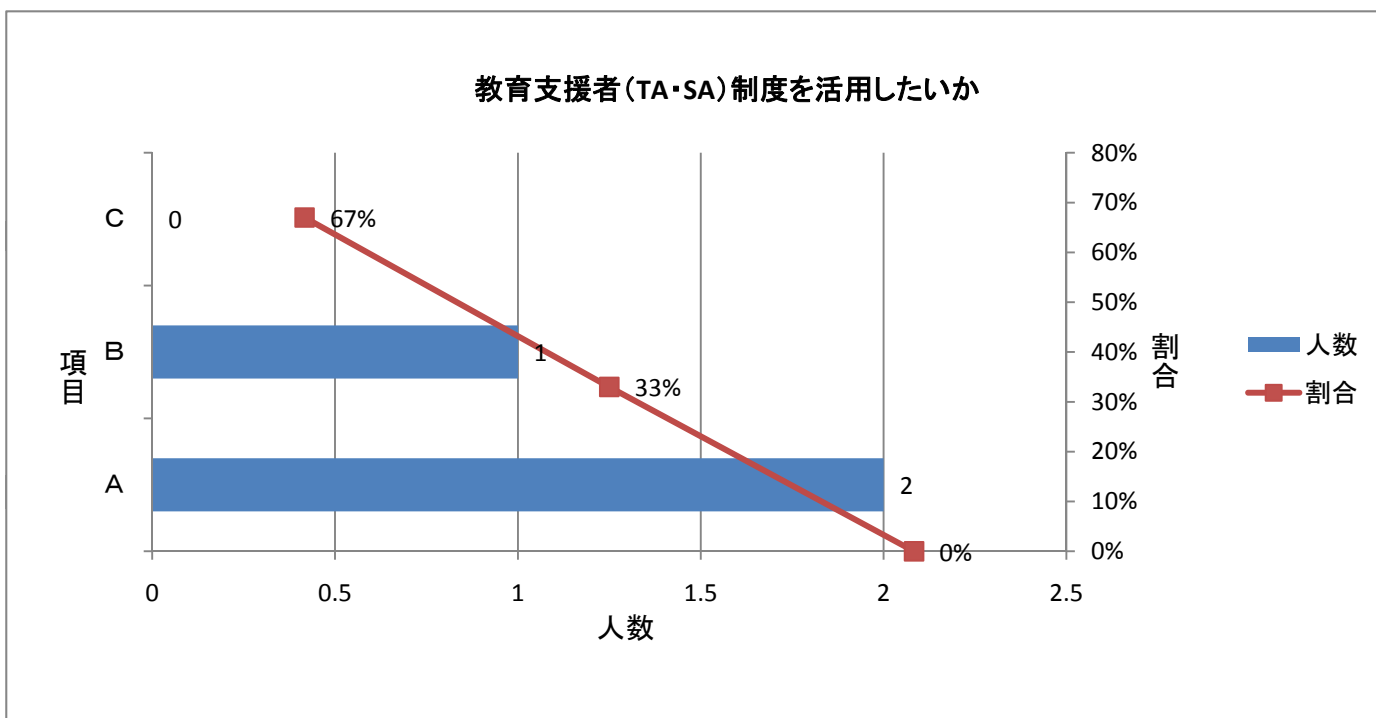
項目	人数	割合	内容
A	1	11%	している
B	8	89%	していない
C	0	0%	過去に活用していた



#### ②教育支援者(TA・SA)制度を活用したいか

※現M1のみ回答

項目	人数	割合	内容
A	2	67%	活用したい
B	1	33%	活用したくない
C	0	0%	どちらでもない



#### ③②の理由

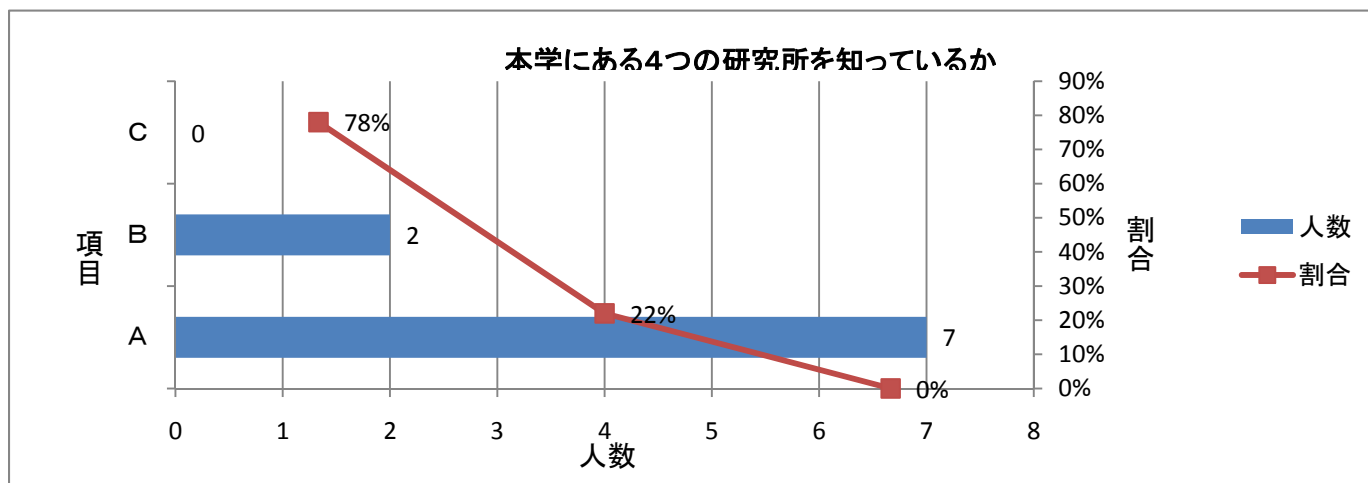
M1	教えることを通して、知識が深まりそうです。(A)
M2	よくわからない。(C)

## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### 8.本学に付置している研究所について

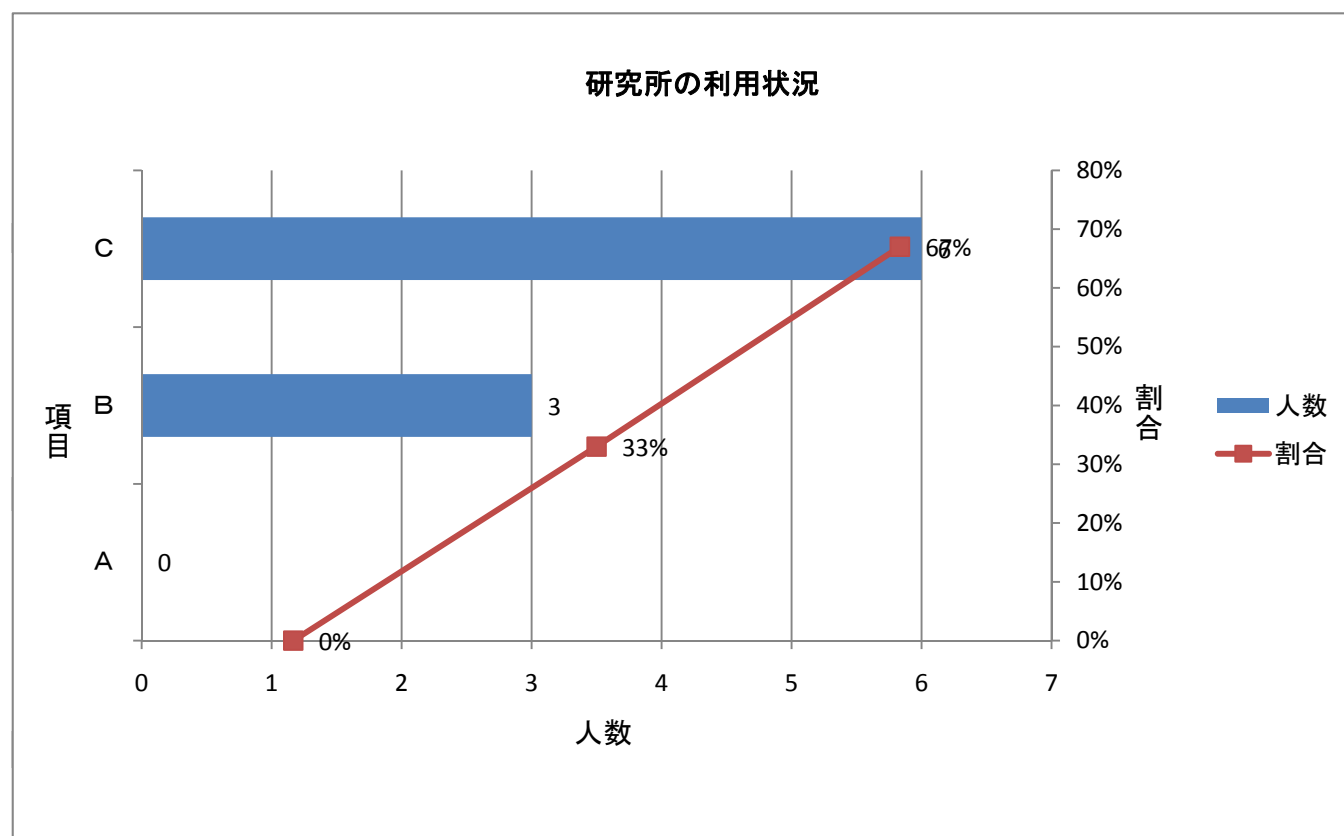
#### ①本学にある4つの研究所を知っているか

項目	人数	割合	内容
A	7	78%	知っている
B	2	22%	知らない
C	0	0%	興味がない



#### ②研究所の利用状況

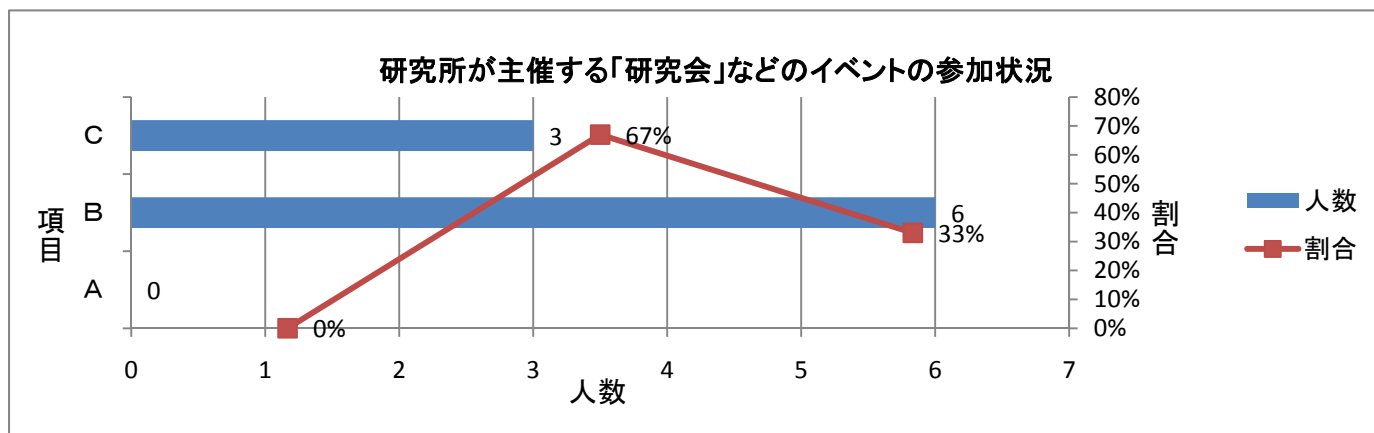
項目	人数	割合	内容
A	0	0%	よく利用している
B	3	33%	たまに利用している
C	6	67%	全く利用していない



## 2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

### ③研究所が主催する「研究会」などのイベントの参加状況

項目	人数	割合	内容
A	0	0%	よく参加している
B	6	67%	たまに参加している
C	3	33%	全く参加していない



### 9.その他の意見・要望

M2	まず、大学の24時間OPEN化を実現させてほしい。学生から毎年のように要望が出ているはずなのに、なぜ行わないのか。 あとは、大学院事務室を復活させてほしい。他大学からの問い合わせ対応が、たらいまわしになるし、院自体の存在が薄くなる。
M2	図書館司書の態度がひどい。
M2	イノベーション論、経営戦略論、経営組織論などの科目を追加することで、専門職の分野を広げることが出来ると思います。将来的には、博士後期課程の設置も実現出来ることを希望します。
M2	入学者数が少なすぎるのが気になります。魅力を高める工夫、独自性などの手立てを立てて下さい。修了した母校がなくならないか心配です。